

高知大学 病院 ニュース

〔編集〕

高知大学病院ニュース

編集委員会

委員長 井上 啓史

〔発行人〕

高知大学医学部附属病院

病院長 横山 彰仁

「就任のご挨拶」

検査部技師長として

高知大学医学部教職員の皆様には、平素より検査部に格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。このたび、小倉克巳技師長の後を受け、4月1日より臨床検査技師長に就任することとなりました。何卒よろしくお願い申し上げます。



検査部技師長
山中 茂雄

私は高知県出身で1983年に高知医科大学検査部に採用され、以来33年間勤務させていただいております。入職したころの検査部は、初代検査部長の佐々木匡秀教授、西田政明技師長のもと、自作ベルトラインシステムが完成し実用化されていました。現在では、本システムが検体搬送システムの基となり、日本はもちろんのこと、世界各国で広く使用されています。その一方、臨床検査の基礎知識から専門技術までを学ぶと共に、診療、研究、教育の重要性について常にご教授いただきました。

その後、二代目検査部長に杉浦哲朗教授が就任され、診療、研究、教育の三本柱の他に、社会・地域貢献、国際化の充実・発展を強調されてきました。そこで、各種認定資格の取得、博士号の取得、新しい検査技術の開発、先進医療を担う医療人の育成、ISO 15189の取得、維持管理に努めてまいりました。

これまで、私は多くの教職員の方々に育ていただきました。これからは、お世話になった皆様に少しでも恩返しができるよう、三代目検査部長の松村敬久教授と協力して、診療、研究、教育の三本柱において真摯に努力していく所存です。今後とも皆様からの変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。

就任のご挨拶

この度、平成29年4月1日付けで、楠瀬伴子前看護部長の後任として看護部長を拝命いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、昭和61年に本院に新卒看護師として採用されました。当時は開院5年目で、現在の第一病棟で東西ともに病棟が稼働し始めて数年の頃でした。その時には、約30年後に新病棟が建ち、自分が同じ病院で勤務しており、ましてや大任を仰せつかるなどとは思ってもよかったです。

当時の私自身もそうであったように、看護部では新卒者を多く採用しています。そのため、看護職としての基盤形成を支援し、人材育成を推進することが一つの大きな役割となってきます。医育機関である大学病院の看護部としては、人材育成には重きを置かねばならないと私自身も考えております。また、看護部には諸先輩方が築いてこられた「人を育てようとする組織風土」が浸透していると感じます。このことは看護部の財産の一つであると自負しておりますし、今後もこの組織風土を大切にし、看護部内のみならず組織の枠を超えて活躍できる人材を輩出できる看護部でありたいと考えます。

近年、大学病院に求められる役割機能は拡大・多様化しており、さまざまな場面で看護の力が求められています。看護部は病院職員数の半数以上を占めており、医療サービスの最前線に位置していることから、これらの期待に応えていかねばならないと感じます。病院の役割機能の拡大・多様化はすなわち看護職の機能拡大・多様化であると捉え、マンパワーを発揮できるようさらに充実させ、病院運営への貢献を目指していきたいと考えます。それと同時に、看護職員個人にとってもやりがいの感じられる職場環境を整えていき、組織と個人が共に高め合える存在でありたいと思います。

今後も病院職員の皆様のご支援を賜りながら、少しずつであっても着実に前進していける看護部組織でありたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



看護部長
多田 邦子

光線医療センター、免疫難病センターを開設しました

高知大学医学部附属病院では、
 本年4月1日から新たに
 「光線医療センター」「免疫難病センター」の2センターを開設しました。

総務企画課

各センターで扱う疾患は特殊性があり、専門医と専門スタッフによる治療やサポートの必要性がきわめて高く、センター化することで多職種によるチーム医療がスムーズに行え、患者さんにとってより安全・安心な高度な医療を提供することが可能になりました。



「光線医療センター」では、特殊な光源を用いた診断・治療に関する診療・研究・教育を行っています。外科(一)、外科(二)、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科などの複数の診療科における専門医が、診療科という括りを越えて、高齢化先進県である高知県の要望に即した低侵襲医療の開発・実施・普及にあたります。

■対象となる疾患：消化管がん、乳がん、心臓血管障害、肺がん、脳腫瘍、脳血管障害、皮膚表皮内がん、膀胱がん、前立腺がん、腎盂・尿管がんなど



「免疫難病センター」では、自己免疫病の中でも診断・治療が困難であるSLEや強皮症、皮膚筋炎などの全身性免疫難病に対し、皮膚科、呼吸器内科といった診療科が対応して、専門性のある最新の診断・治療を行っています。また、こうした免疫難病における臨床上の問題点を明確にし、その問題のメカニズムについて基礎研究を通じて明らかにした上で臨床の現場へとフィードバックすることで、新たな診断法・治療法を開発することも免疫難病センターの目的の一つです。

光線医療センター
 Center for Photodynamic Medicine

◆センター長 外科(一) 教授 **花崎 和弘**
 ◆副センター長 泌尿器科 教授 **井上 啓史**

問い合わせ先 泌尿器科学講座事務室 内:22816
TEL:088-880-2402

免疫難病センター
 Center for Intractable Immune Disease

◆センター長 次世代医療創造センター 教授 **仲 哲治**
 ◆副センター長 皮膚科 教授 **佐野 栄紀**
 内科(内分泌代謝・腎臓) 助教 **谷口 義典**

問い合わせ先 次世代医療創造センター 内:22025
TEL:088-880-2719

「個人情報保護法の改正」に関する講演会を行いました

総務企画課

平成29年3月3日(金)、医療安全研修会を兼ねた講演会を行いました。講師には、参議院議員であり、慶應義塾大学の法科大学院教授及び医学部外科教授も兼ねておられる古川 俊治先生をお招きしました。この講演は、今年度に予定されている改正個人情報保護法の施行を見据え、開催されたものです。

当日は「個人情報保護法の改正」や「患者暴力への対応」、「これからの地方の医学部」といった、これからの病院運営に欠かせないテーマ

： について話があり、講演会の参加者たちは真剣な面
 ： 持ちで耳を傾けていました。特に「患者暴力への対
 ： 応」については、病院で働く職員にとっては重要な
 ： 問題であるため、参加者から個別の質問が挙がる場
 ： 面もありました。講演は18時30分から約1時間にわ
 ： たって行われ、講演終了後にも古川先生と談笑する
 ： 参加者の姿が見られました。

参議院議員 兼
 慶應義塾大学法科大学院 教授
 医学部外科 教授
 古川 俊治先生



講演の様子

高知大学医学部附属病院と高知県立あき総合病院とのがん診療の連携に関する協定締結式を行いました

研究推進室

平成29年3月16日(木)、高知大学医学部附属病院と高知県立あき総合病院は、がん診療の連携を図る協定を締結しました。高知大学医学部で協定締結式が行われ、横山 彰仁 高知大学医学部附属病院長と前田博教 高知県立あき総合病院院長が協定書に署名しました。

協定には、定期的な合同カンファレンス及びがんサワーボードの実施に関する事、人材交流に関する事、患者相談

： 支援業務に関する事について緊密に連携を図る
 ： ことが定められており、高知大学医学部附属病院
 ： と高知県立あき総合病院が最新のがん診療情報を



横山彰仁 高知大学医学部附属病院院長と前田博教 高知県立あき総合病院院長

共有することで、東部住民の皆様へ最新の医学技術を還元できる事が期待されます。

高知大学医学部附属病院と県立病院が協定を結ぶのは今回が初めてで、今後さらに病院間の連携を進めていきたいと考えています。

医局長・ 外来医長・ 病棟医長一覽

平成29年4月1日現在
◎は主任科長、()は代理

診療科	科長	副科長	医局長	外来医長	病棟医長
内科	西原 利治	岩崎 信二	岩崎 信二	耕崎 拓大	廣瀬 享
	寺田 典生	藤本 新平	堀野 太郎	中山 修一	井上 紘輔
	横山 彰仁	窪田 哲也	窪田 哲也	森 正和	大西 広志
	北岡 裕章	山崎 直仁	山崎 直仁	久保 亨	野口 達哉
	◎古谷 博和		大崎 康史	大崎 康史	森田 ゆかり
小児科	藤枝 幹也	久川 浩章	久川 浩章	山本 雅樹	石原 正行
精神科	(下寺 信次)	下寺 信次	上村 直人	須賀 楓介	赤松 正規
皮膚科	佐野 栄紀	中島 喜美子	大湖 健太郎	木戸 一成	藤岡 愛
放射線科	山上 卓士	刈谷 真爾	刈谷 真爾	南口 博紀	山西 伴明
外科	花崎 和弘	杉本 健樹	北川 博之	沖 豊和	上村 直
	◎渡橋 和政	西森 秀明	穴山 貴嗣	福富 敬	西森 秀明
形成外科	栗山 元根	吉田 行貴	吉田 行貴	吉田 行貴	矢野 晶子
麻酔科	横山 正尚		矢田部 智昭	河野 崇	北岡 智子
産科婦人科	前田 長正	池上 信夫	泉谷 知明	谷口 佳代	池上 信夫
整形外科	池内 昌彦	武政 龍一	川崎 元敬	喜安 克仁	泉 仁
眼科	福島 敦樹	福田 憲	角 環	松下 恵理子	西内 貴史
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	兵頭 政光	小林 泰輔	小林 泰輔	小森 正博	松本 宗一
脳神経外科	上羽 哲也	中城 登仁	福井 直樹	中城 登仁	川西 裕
泌尿器科	井上 啓史		蘆田 真吾	山崎 一郎	辛島 尚
歯科口腔外科	山本 哲也	北村 直也	笹部 衣里	北村 直也	仙頭 慎哉
総合診療部	[部長] 瀬尾 宏美	[副部長] 武内 世生	武内 世生	小松 直樹	北村 聡子
病理診断科	村上 一郎	弘井 誠	倉林 睦	長沼 誠二	

部門名	部門長	副部門長
胃腸内科部門	西原 利治	岡本 宣人
肝・胆膵内科部門	岩崎 信二	小野 正文
内分泌・糖尿病内科部門	藤本 新平	西山 充
腎臓・膠原病内科部門	寺田 典生	堀野 太郎
血液内科部門	砥谷 和人	谷口 亜裕子
呼吸器・感染症内科部門	横山 彰仁	窪田 哲也
老年病科部門	北岡 裕章	山崎 直仁
循環器内科部門	北岡 裕章	山崎 直仁
神経内科部門	古谷 博和	大崎 康史

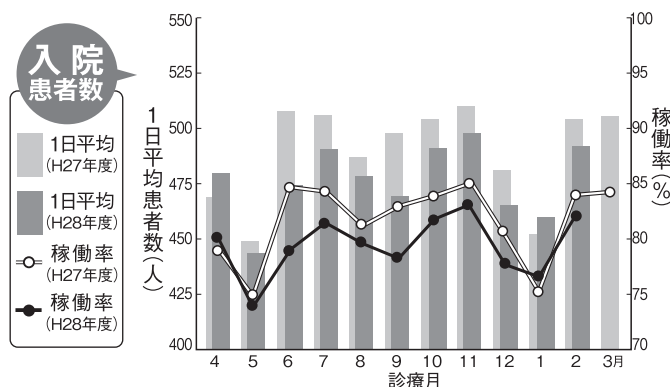
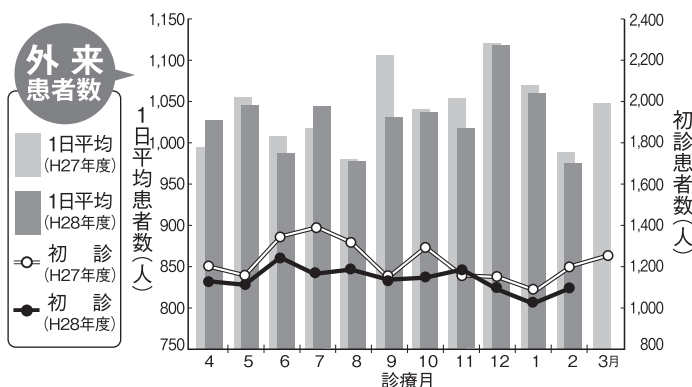
部門名	部門長	副部門長
消化器外科部門	花崎 和弘	並川 努
心血管外科部門	渡橋 和政	西森 秀明
呼吸器外科部門	穴山 貴嗣	岡田 浩晋
乳腺・内分泌外科部門	杉本 健樹	沖 豊和
小児外科部門	大畠 雅之	坂本 浩一
臨床腫瘍・内視鏡外科部門	小林 道也	岡本 健

平成29年度 病院ニュース編集委員会 委員名簿

[任期:平成29年4月1日~平成30年3月31日]

委員長	井上 啓史 (泌尿器科 科長)	副委員長	山上 卓士 (放射線科 科長)
委員	古谷 博和 (神経内科 教授) 駄場中 研 (外科(一) 講師) 渡部 輝明 (医学情報センター 講師)	坂本 美和 (看護部 副看護部長) 岩田 豊志 (総務企画課 課長補佐) 曾我 憲幸 (医事課 専門員)	

診療状況



編集後記

平成29年度最初の病院ニュース発刊となりました。今号には、新任の多田看護部長、山中検査部技師長からのご挨拶、新設された光線医療センター、免疫難病センターの紹介等の記事が掲載されています。

編集委員を仰せつかっておりますが、「書く力」の無さを自覚している身としては、執筆された皆さんの原稿を読ませていただき、一般の

方にわかりやすい表現に努められておられること、また、時には肩の力を抜いた一文があること等、執筆者の推敲のご苦労に頭が下がる想いです。

平成28年度に引き続いて、今年度も、微力ながら病院ニュース編集委員としてお手伝いをさせていただきたいと考えております。

(文責: 曾我 憲幸)